

THAILAND



精電舎電子工業 海外関連会社紹介

SEIDENSHA ELECTRONICS THAILAND

お客様ニーズに合わせた工法提案から、納入後のアフターサービスまで行っております。
お気軽にお問合せください。

企業概要

商号	セイデンシャ エレクトロニクス タイランド	
英文	SEIDENSHA ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.	
所在地	147 Moo 6, Donhuaroh, Muang, Chonburi 20000 (Amata Nakorn)	
TEL	+66 (0)38 057 191 (タイ語/代表)	+66 (0)61 778 5353 (日本語/担当: 坂井)
FAX	+66 (0)38 057 192	
Email	info@sedecothai.co.th	
設立	2011年12月	
資本金	2,000,000バーツ	
代表者	President	中島 直樹
	Managing Director	坂井 理恵



特徴

① Made in Japan の商品をタイのお客様へ

商品の紹介及び最適工法の提案、輸入手続、設置作業、操作説明（タイ語、日本語、英語）まで一貫して対応いたします。
一部商品はデモ機がありますので実機の確認と溶着トライの実施も可能です。

② 日本語可能なタイ人スタッフ在籍

日本人常駐者他、日本語が話せるタイ人の実務スタッフが数名在籍しております。

日本語での商談はもちろんの事、精電舎日本と密に連携を取りながらお客様へのスピーディな対応を心掛けております。

③ 新商品をタイムリーにご提案

精電舎日本でリリースされた新商品を日本と同じタイミングでタイのお客様にご紹介いたします。

④ アフターサービス

当社及び日本からご購入された商品の修理、定期メンテナンス等のご相談を承ります。

⑤ 特注機の手配

精電舎ブランドの標準機を搭載した特注機や付帯設備も承ります。

※上記内容は2018年7月現在のものとなります。予告なく変更させて頂く場合があります。

精電舎電子工業は、
「プラスチックの溶着溶断装置と
応用加工技術」を
総合的に提供できるメーカーです。

日本国内において最大の生産能力と、
最大の出荷台数・稼働台数を誇り、
海外においても、
アジア全域をはじめ世界各国に輸出、
精電舎ブランドとして高い評価を得ています。

プラスチック溶着溶断技術と
波動応用技術で21世紀をリードします。



「&」で切り開く 未来の扉

SEIDENSHA

超音波応用技術

超音波ウェルダ、超音波トーションウェルダ、
超音波カッター、超音波メタルウェルダ

高周波応用技術

高周波ウェルダ、電磁誘導ウェルダ、
非接触熱板溶着機

レーザー応用技術

レーザー加工機

その他の技術

振動溶着機、インパルス溶着機、
スピニングウェルダ、各種発振器・電源装置

自動化技術

自動布線機、横流ファン溶着機、自動溶着・溶断装置、
高速異物検査付 全自動ゲートカットシステム

Welding Technology



Fusing Technology

■会社概要 company profile

設立 昭和31年7月16日
資本金 88,625,000円
代表者 代表取締役社長 松岸則彰
代表取締役専務 中島直樹
従業員 160名
取引銀行 みずほ銀行尾久支店
三井住友銀行上野支店
日本政策金融公庫東京支店
事業拠点 本社・工場:〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2丁目2番17号
Tel :03-3802-5101 (大代表) FAX:03-3807-6259
支店 :大阪
営業所 :名古屋、福岡、栃木、広島
事務所 :湘南事務所
海外 :中国、タイ、アメリカ

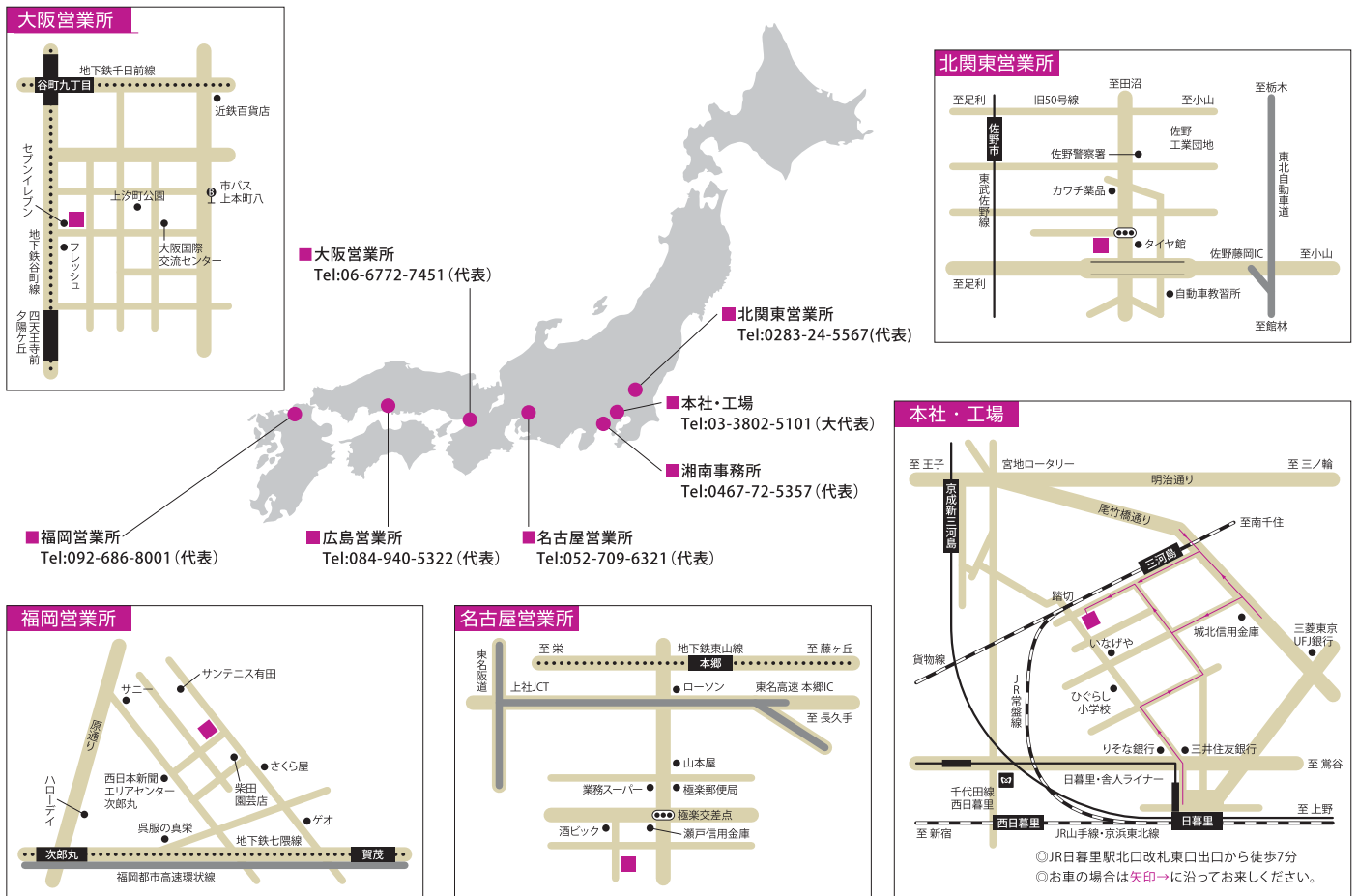


事業内容 ■超音波ウェルダ等超音波応用技術、高周波ウェルダ等高周波応用技術、レーザー加工機、振動溶着機、インパルス溶着機、
スピニングウェルダなど、プラスチックの溶着溶断装置及び自動化装置、金属接合機の製造、販売
■超音波・高周波・レーザー発振器及び応用装置の開発、製造、販売
取引先 自動車、電機、電子情報通信、光学、医療、化学、事務器具、食品、包装、玩具など多数

■沿革 History of our company

1924 (大正13年) 精電舎製作所を台東区鳥越で創業。有線無線通信機の製造販売を開始。
1953 (昭和28年) 株式会社精電舎製作所を設立。高周波ウェルダの開発、製造。ビニール製品の高周波加工を手がける。
1956 (昭和31年) 社名を精電舎電子工業株式会社に改称。日暮里に工場を新設。
1961 (昭和36年) 世界で最初に開発した「超音波プラスチックウェルダ」「超音波ミシン」を東京国際見本市で発表。
1970 (昭和45年) 本社を日暮里工場に移転。
1973 (昭和48年) 炭酸ガスレーザーを開発。
1977 (昭和52年) 電磁誘導ウェルダを開発。
1984 (昭和59年) 業界初のプラスチック専用NCレーザー加工機をJP84で発表。
1985 (昭和60年) 新社屋を落成。総合メーカーとしての基礎を整備。
1989 (平成元年) マイコン制御全自動貴金属チェーン溶着システムを開発。デジタル技術に応用した溶着システムの開発に注力開始。
1994 (平成6年) 高速異物検査装置を開発。画像応用計測など品質管理システムの開発に注力開始。
1996 (平成8年) 次世代コンセプトマシンとなる、デジタル制御一体型ウェルダ「SONOPET Σシリーズ」を開発。
振動溶着機、熱板溶着機など大型溶着機を開発。
1999 (平成11年) 高密度電子回路用自動布線機を開発。
2000 (平成12年) メタルウェルダ及び精密溶着機を開発。
2002 (平成14年) 外観検査装置を開発。
2004 (平成16年) ISO14001環境マネジメントシステムを大阪支店広島出張所を除く全ての営業拠点で認証取得。
2007 (平成19年) 超音波ウェルダデジタルΣを開発。
2014 (平成26年) 次世代フルデジタル制御タイプ超音波ウェルダ「SONOPET J」シリーズを販売開始。

精電舎電子工業は、開発の段階より、プラスチックの溶着・溶断に関する全てのご要望に即応できる専門スタッフを配置。本社技術陣と連携して、立ち上がりから生産中のメンテナンスまで、納得頂ける体制を整えています。



海外拠点

■アメリカオフィス／U.S.A. Office
SEDECO USA, Inc.
6236 Centre Park Dr. Suite B, West Chester, OH 45069 U.S.A.
Tel : +1-513-644-2369 FAX : 1-513-644-2370 E-mail : info@sedecousa.com

■タイオフィス／Thailand Office
SEIDENSHA ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.
147 Moo 6, Donhuaroh, Muang Chonburi 2000(Amatanakorn)
Tel : +66-(0)38-057-191 E-mail:info@sedecothai.co.th HP:http://sedecothai.co.th/

精電舎電子工業株式会社

<http://www.sedeco.co.jp>

本店・支店・営業所

本社・工場	東京都荒川区西日暮里2丁目2番17号	〒116-0013	Tel:03-3802-5101 (大代)	Fax:03-3807-6259	E-mail:tokyo@sedeco.co.jp
湘南事務所	神奈川県高座郡寒川町一之宮7-5-10	〒253-0111	Tel:0467-72-5357 (代表)	Fax:0467-72-5358	
東日本支店					
東京営業所	東京都荒川区西日暮里2丁目2番17号	〒116-0013	Tel:03-3802-5101 (大代)	Fax:03-3807-6259	E-mail:tokyo@sedeco.co.jp
北関東営業所	栃木県佐野市茂呂山町3-1第7下田ビル	〒327-0826	Tel:0283-24-5567 (代表)	Fax:0283-24-5487	E-mail:sano@sedeco.co.jp
西日本支店					
名古屋営業所	名古屋市名東区松井町271番地	〒465-0062	Tel:052-709-6321 (代表)	Fax:052-709-6764	E-mail:nagoya@sedeco.co.jp
大阪営業所	大阪市天王寺区生玉前町5番15号	〒543-0072	Tel:06-6772-7451 (代表)	Fax:06-6772-7453	E-mail:osaka@sedeco.co.jp
広島営業所	広島県福山市大門町1-16-3	〒721-0926	Tel:084-940-5322 (代表)	Fax:084-940-5327	
福岡営業所	福岡市早良区有田5-27-26	〒814-0033	Tel:092-686-8001 (代表)	Fax:092-686-8002	E-mail:fukuoka@sedeco.co.jp

溶着テストサービス

精電舎電子工業では、専門技術員による溶着加工のご相談やテストサービスを無償で行っています。

【新製品の溶着については、お早めにご相談ください】

新製品の開発を進められるとき、デザインや機能を重視して金型を作り、生産開始直前に溶着の解決方法を求められる場合が少なくありません。そのために超音波ウェルダーの威力を十分に発揮できないこともあります。早めにご相談ください。テストデータに基づいて、最高の能力を発揮できる加工方法をご提案いたします。ご相談お待ちしております。



担当